

(臨床研究に関するお知らせ)

急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎で入院された患者さんとご家族へ

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、特定の病気に対して、その原因と考えられる要因があるかないかをある一時点で調査し関連性を調べる「横断研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の全国調査（二次調査）

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 助教 宮本 恭兵

3. 研究の目的

急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の患者さんは増加傾向にありますが、その実態はいまだ不明な点が多いのが現状です。前回は2011年に急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の全国調査を行っていますが、5年が経過しており、最新の患者さんの動向を知る必要があります。今回は2016年1年間の全国の診療施設における急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の診療の実態を明らかにすることを目的としています。今回の研究で得られた知見は本邦の膵炎診療の予後改善、成績向上につながる可能性があります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2016年1年間に当科に急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎で受診・入院された方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの年齢、性別、診断、既往歴、血圧・脈拍・呼吸数などのバイタルサイン、検査結果、治療内容、重症度、転帰等に関する情報です。

(3) 方法

全国から集められた膵炎患者さんの情報を統計学的に解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 担当医師 柴田 真未

TEL : 073-441-0603 FAX : 073-447-2360

E-mail : mami517@wakayama-med. ac. jp